

9月30日現在

平成15年度 予算の執行状況

平成15年度予算の執行状況は、下表のとおりとなっています。なお、年度内に歳計現金が不足した場合にそれを補うために借り入れる「一時借入金」の現在高は、9月30日現在ありません。

一般会計 歳入 (単位:万円)

款	予算現額A	収入済額B	執行率B/A
市 税	1,879,592	1,090,214	58.0
地方譲与税	29,000	8,019	27.7
交付金等	213,712	157,235	73.6
地方交付税	11,000	0	0.0
分担金及び負担金	30,566	10,967	35.9
使用料及び手数料	47,137	20,799	44.1
国庫支出金	266,799	63,664	23.9
県支出金	103,662	22,899	22.1
財産収入	7,022	6,406	91.2
寄附金	365	145	39.7
繰入金	18,865	144	0.8
繰越金	372,683	372,682	100.0
諸収入	72,327	4,414	6.1
市債	249,850	0	0.0
合計	3,302,580	1,757,588	53.2

一般会計 歳出 (単位:万円)

款	予算現額A	支出済額B	執行率B/A
議会費	30,279	13,651	45.1
総務費	445,767	185,450	41.6
民生費	705,232	327,216	46.4
衛生費	283,228	148,393	52.4
労働費	24,810	22,086	89.0
農林水産業費	21,433	8,583	40.0
商工費	35,978	24,195	67.2
土木費	826,420	174,520	21.1
消防費	167,525	67,590	40.3
教育費	465,005	183,109	39.4
公債費	291,649	139,303	47.8
諸支出金	350	0	0.0
予備費	4,904	0	0.0
合計	3,302,580	1,294,096	39.2

特別会計 (単位:万円)

会計名	予算現額A	歳入		歳出	
		収入済額B	執行率B/A	支出済額C	執行率C/A
国民健康保険事業	785,680	328,449	41.8	327,302	41.7
下水道事業	279,444	90,485	32.4	113,559	40.6
老人保健医療事業	498,716	231,357	46.4	203,904	40.9
介護保険事業	280,101	123,321	44.0	108,247	38.6
合計	1,843,941	773,612	42.0	753,012	40.8

わがまちの 財政事情

平成14年度決算の概要

平成14年度に実施した主な事業

事業名	事業費(万円)	概要
IT講習推進事業	368	昨年度に引き続き、インターネットの利用や電子メールの送受信など基本的な技術の習得を目的とした講習会を開催しました。
防犯対策推進事業	3,519	ハード面の対策(防犯灯の新設・移設、腐食ボールの建替えなど)とソフト面の対策(海老名警察署、関係機関と連携)を実施し、安全・安心で住みやすいまちづくりを推進しました。
戸籍電算化事業	10,003	戸籍事務の電算化により、戸籍編成作業が3日間程度に短縮されました。また、窓口での証明書交付の待ち時間が、従来と比較して30%程度にスピードアップが図られました。
障害者就労援助事業	2,662	福祉的就労協力事業所に対して奨励金を交付し、知的障害者の職業能力に応じた就労の場の拡大と職業適応能力の向上を図りました。
ひとり暮らし老人等在宅支援事業	3,186	ひとり暮らしの高齢者などに対し、配食サービス、緊急通報、地震対策援助(家具転倒防止)などを実施しました。
保育所入所運営事業	36,866	保護者の就労や病気など、さまざまな事情により家庭で保育ができない児童を保護者に代わり保育し、健全な育成と児童福祉の向上を図りました。
乳幼児健康診査事業	4,260	母子保健法に基づき、妊産婦健診および幼児健康診査を実施し、妊娠中の母体の健康管理及び乳幼児の発育・発達状態を確認し、必要に応じ保健指導を実施しました。
廃棄物減量化事業	223	家庭から排出される生ごみの減量化の一環として、電動式を含め生ごみ処理容器を設置した方に対して購入費用の一部を補助しました。
農業基盤整備事業	3,829	農道の車列りなどを地元生産組合に委託し、維持管理経費の軽減と通水能力の向上を図りました。水路、農道等の基盤整備や補修などを行い、優良農地及び自然環境の保全を図りました。
観光振興事業	1,948	まちの活性化を促進するため、市観光協会に委託を行い、観光資源の活用や既存資源の更なる展開を図りました。また、イルミネーションを復活させ、市民が楽しめるイベントを開催しました。
都市下水道整備事業	7,568	市街地の拡大に伴う道路の冠水や宅地への浸水などの雨水被害の防止と公衆衛生の向上を図るために、地域の基幹的な排水路である都市下水道の計画的な整備を実施しました。
地下駐車場維持管理経費	6,638	海老名駅前前時間貸し市営駐車場を、安全性の高い施設として適正に維持管理を行いました。(年間利用台数 227,678台)
海老名駅自由通路整備事業	166,538	第一期整備工事として、小田急・相鉄海老名駅から中央公園までを結ぶ駅前広場上部の歩行者専用通路を整備し、あわせて駅前交通広場の改良工事を行いました。
通信施設整備事業	22,562	消防通信指令システムを更新し、迅速な現場の特定や出動部隊への指令などを行うことができました。また消防庁が構築した緊急支援情報システムで、迅速・的確な応急対応が行えるようになりました。
情報インストラクター配置事業	3,479	コンピュータを活用した授業などで、トラブルに早急に対応したりするため、情報機器操作技能に堪能なインストラクターを各学校などに配置し、情報教育の推進を図ることができました。
野外教育施設充実事業	990	海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」の施設充実と、自主事業(6種9事業)の実施により、野外活動の充実に努めました。さらに、学校利用時の保護者負担の軽減を図りました。
相模国分寺跡整備事業	8,724	国指定史跡・相模国分寺跡を、復元・表示・植栽などを行い、学習の場だけでなく、憩いの場としての整備も進めました。また、継続して僧坊跡周辺地区工事を実施し、民有地の公有地化も進めました。
総合体育館運営委託事業	10,185	多種多様なサービスと安心して利用できる施設提供のため、総合体育館の管理運営を海老名公共サービスに委託しました。あわせて、下今泉・今里庭球場と運動公園庭球場を適年開放しました。

平成14年度 海老名さんの家計簿

- サラリーマン(アパートも所有)
- 専業主婦
- 長男 遠くの大学へ通うため、ひとり暮らし
- 長女 保育園へ通う

平成14年度決算について、家計にたとえてみました。市の予算と家計は違いますが、身近に感じてもらえるように作成しました。

算出方法
平成14年度決算額 ÷ 119,110人(平成15年3月31日現在人口) × 4人

収入(目的別)

内 容	金額(円)
給料(市税)	652,095
実家からの援助(国庫支出金・交付金・寄付金など)	218,449
家賃収入(使用料および手数料・分担金および負担金)	25,668
預貯金の利子(財産収入)	1,502
預金の引き出し(繰入金)	12,563
前年度からの繰越金(繰越金)	111,691
銀行ローン(市債)	75,863
臨時収入(諸収入)	31,110
合 計	1,128,941

支出(性質別)

内 容	金額(円)
食費(人件費)	250,339
医療費・保育料(扶助費)	85,136
ローンの返済(公債費)	104,222
電気・ガス代・習いごとの月謝・生活用品など(物件費)	159,343
家電・家具の修理(維持補修費)	9,812
自治会費・募金(補助費など)	82,930
家の増改築(普通建設事業費)	180,041
貯金(積立金)	25,907
友人への貸付(貸付金・投資および出資金)	17,516
への仕送り(繰出金)	88,540
合 計	1,003,786

貯金179,408円 借金822,208円
(平成14年度末一般会計分の基金現在高と市債現在高より算出)

平成14年度各会計別決算

会計名	平成14年度歳入決算額	対前年度伸率(%)	平成14年度歳出決算額	対前年度伸率(%)	
一般会計	3,361,706	1.2	2,989,023	0.0	
特別会計	国民健康保険事業	699,735	2.2	698,444	4.2
	下水道事業	299,205	1.3	283,814	2.3
	老人保健医療事業	521,256	2.5	509,793	3.5
	介護保険事業	257,916	3.7	250,756	7.9
小 計	1,778,112	2.4	1,742,807	4.2	
合 計	5,139,818	1.6	4,731,830	1.5	

平成14年度の決算では、一般会計と4つの特別会計を合わせた額は、歳入981.8万円(前年度比1.6%増)、歳出が473億830万円、同1.5%増となりました。歳入が増えたのは、繰越金32.1%増や、生活保護等に係る国庫負担金、都市基盤整備事業に係る普通建設事業費補助金が増えたためです。

一般会計

歳入が336億1706万円(1.2%増)、歳出が298億9023万円(0.04%減)となりました。歳入が増えたのは、繰越金が増えたこと、歳入が減少となった理由としては、歳入は本格的な景気回復がない中、国庫補助金の

特別会計

獲得努力や繰越金が増加したこと、歳出は、官民格差の是正などから給与改定が行われたことによる人件費の減が挙げられます。

国民健康保険事業

歳入が2.2%増、歳出が4.2%増となりました。このうち歳入は、国民健康保険税が全体の39.9%、同税の平成14年度現年度分収納率は89.5%を占めています。歳出では、医療費の増加に伴い、保険給付費が4.6%増となりました。

下水道事業

対前年度比で歳入が1.3%増、歳出が2.3%増となりました。このうち歳入は、下水道の適正な維持管理に努め、下水道清掃

介護保険事業

歳入が3.7%増、歳出が7.9%増となりました。このうち歳入は、介護保険料が全体の19.6%を占めています。歳出は、介護サービス諸費が前年度比16.2%増、全体の87.2%、2億8542万円を占めています。介護保険料は本来額の金額を徴収しており、収納率は全体で97.6%でした。

老人保健医療事業

歳入が2.5%増、歳出が3.5%増となりました。歳出では、医療給付費が老人保健法の改正の影響で3.6%増、48億2404万円となっています。老人保健加入者一人当たりの医療費の支給額は約58万円(1.3%減)です。

平成14年度一般会計

財政などの状況 9月30日現在

市債の現在高 (単位:万円)			基金の状況 (単位:万円)			市有財産 (単位:m)		
区分	現在高		基金名	現在高	備考	区分	土地	建物
総務債	420,794		財政調整基金	127,176	現金	市庁舎	17,022	15,879
民生債	48,542		庁舎等維持管理基金	200,028	"	消防施設	11,722	5,467
衛生債	90,274		土地開発基金	7,025	"	学校	342,173	116,287
土木債	795,280		まごころ基金	5,431	現金	公営住宅	19,582	4,647
消防債	37,475		駅周辺整備基金	167,891	"	保育園	9,233	2,258
教育債	334,353		みどり基金	462	"	児童館	2,044	580
住民税等減税補てん債	479,116		市営住宅建設基金	22,189	"	公民館	0	1,866
臨時財政対策債	142,910		奨学金基金	11,070	"	公園	343,886	20,903
小計	2,348,744		国民健康保険財政調整基金	685	"	その他の施設	156,035	61,049
公共下水道債	1,458,917		介護保険給付費準備基金	22,785	"	小計	901,697	228,936
相模川流域下水道債	283,259					田	168	0
小計	1,742,176					畑	3,709	0
合計	4,090,920					宅	20,070	0
						雑種地	4,640	0
						その他の地目	4,538	0
						建物	-	459
						小計	33,125	459
						合計	934,822	229,395

